

# 市民ネットワーク 市議会速報

2022年  
10月17日発行

会派 市民ネットワーク

川口えみ 松島こずえ 五十嵐ともみ

8月市議会 (8/29 ~ 9/28)

新型コロナウイルス

## 発熱外来につながらない！

### 第7波で感染者急増

8月の市内新型コロナウイルス感染者は、過去最多の5223人。自宅療養者も過去最多でした。発熱し電話をしても医療機関につながらず、自己判断で自宅療養するしかない人が多発。市民ネットワークにも相談が多数寄せられました。



抗原検査キットには、医療用と研究用があります。必ず、「医薬品」と明記されたものを使いましょう。

市内で公表している発熱外来は18医療機関。市内の内科・小児科の総数は55医療機関なので、約3割。少なすぎます。

9月議会で質問したところ、市は「医療機関の予約が取りづらいことは把握している。医療機関が逼迫しないようにすることが市の役割」と答弁。発熱外来を増やす取り組みを何も行っておらず、発熱して電話をかけ続け、途方にくれた市民のことを全く考えていません。

### 他市は独自施策があるのに…

八千代市では、発熱外来を増やすため、市内医療機関に独自の助成金を支給しました。発熱外来として登録し公表すると、最大40万円が支給されます。佐倉市も、このような市独自の取り組みをすべきと決算委員会でも求めましたが、やる予定はないとの一点張り。

野田市は陽性者登録センターの開設、浦安市は小中学生に抗原検査キットの無料配布と、他市は独自で様々な施策を次々に行っていますが、佐倉市だけ未だ何もありません。

コロナ感染の波はいつまた来るか、わかりません。次のピークに備え、発熱外来を増やすなど、市独自でできることを考え、実行するべきです。

## 5億3千万円コロナ交付金返還問題

職員の事務手続きミスによるコロナ交付金の返還問題は、佐倉市を大きく揺るがしました。再発防止策として、今まで一人でやっていた事務処理を二人体制で、また複数人によるチェック体制の徹底強化を求めてきました。しかし、市に人員を増やす姿勢はありません。

これでは再発防止は不可能です。

また、防止対策をまとめた検討会は職員のみで議論し、最終報告書を公表しましたが、十分に検証されたか疑問です。今後、外部から弁護士や専門家等を入れた第三者評価機関を設置すべきと主張しました。

## 旧統一教会とのかかわりを徹底調査し公表を！

昨年8月に行われたピースロードという自転車イベントに、市長が参加。出発式で挨拶し、職員2名も同行。



佐倉市HP  
西田市長フォトレポートより

このピースロードの主催は、実は旧統一教会関連団体でした。さらに、前回の市長選(2019年)の時、旧統一教会の佐倉支部に選挙応援を依頼していたのです。僅差での勝利に疑問が湧きます。また、今年の参院選の際、教団に自民党の井上候補の応援依頼をしたこともわかりました。市長は「旧統一教会とは知らなかった」とのことですが、入口に大きな看板がかかっているので一目瞭然。

「過去も含めた旧統一教会とのかかわりを調査し、対処する予定があるか」と決算委員会で質問しましたが、答弁なし。9月8日、徹底的に調査し公表するよう、9人の議員で市長に要望書を提出しました。

# 大型事業でなく、 通学路・生活道路の整備を

## 大型道路建設は難航

岩富・寺崎線の延長工事は、佐倉南図書館の先から国道 51 号に繋ぐ 2.2 km の大型事業で、総事業費約 40 億円。起点と終点は、用地境界も確定しておらず、交渉は難航しています。

飯野Ⅱ-31 号線は、ふるさと広場と草ぶえの丘を繋ぐ総事業費約 9 億 8 千万円のうち、国からの交付金が通常 4～5 割のところ、わずか 8% しか交付されないことが判明。国も必要性を認めていないのではないのでしょうか。これら 2 本の道路は、今後増額となることが予想されます。

## 通学路など生活道路は

通学路の緊急一斉点検をうけて、市は対応はしたものの、道路表示の塗り直しや電柱幕の設置でお茶を濁しています。しかし、ガードレールや信号機の設置、道路拡幅、歩道整備など、県と連携し継続的に進めることが重要です。また、道路の穴に車や人が落ちたり、街路樹や雑草が伸び放題の箇所もあるので、あわせて対応を求めています。

## 佐倉ふるさと広場拡張計画

佐倉ふるさと広場に民間事業者を入れて、飲食店や売店を経営させる計画が進んでいます。試算ではガーデン整備に 5 億円、駐車場に 1 億 5 千万円。9 割は市の負担です。駐車場も有料となり、常時 500 円。不要不急の公共事業に税金を投入するのではなく、生活道路やコロナ対策に振り向けるべきです。

## 市民ネットワーク 議会報告会

11月19日(土) 13:30～  
スペース結(王子台1-26-7)  
どなたでもご参加ください。



## 上 会 「ケアニン」

新人介護福祉士と認知症の女性との交流を描いた作品です。

11月5日(土) 13:30～15:30

ミレニアムセンター佐倉 ホール

参加費 無料

申込みはこちらから

<https://forms.gle/LDd75goqyYJabp7z8>



## 8 月市議会の採択結果

意見書	結果	市民ネット	さくら会	公明	自民 さくら	共産	ひまわり会 オンパス			
★岸田首相による原発の新增設・再稼働検討指示の白紙撤回を求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×
★5歳から11歳のコロナワクチン接種を「努力義務」にしないよう求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
「日統一協会」と政治家の癒着を究明し、決別を求める意見書	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○
★印は、市民ネットワーク提出 (敬称略)		五十嵐 川口 松島	中村, 櫻井, 石渡 爲田, 平野, 敷根 岡野, 密本 齋藤(明)	岡村 久野 鍋田 押木	山本 徳永 石井 齋藤	萩原 木崎	藤崎 宇田	稲田	高橋	玉城

## 地下図書館住民訴訟 ついに証人尋問!

地下図書館で物議をかもしている新佐倉図書館等整備事業は、総事業費約 37 億 5 千万円。見直しを求める住民訴訟が続く中、建設完了。9月27日、千葉地裁で市の担当職員への証人尋問が行われました。

尋問では、設計業務の入札前から岡田設計事務所が市と打ち合わせをしていたこと、地下図書館には適さない軟弱地盤であること、建設工事を行う前田建設工業が、産廃の不法投棄を繰り返している業者であることなどについて、清田のり子弁護士が鋭く切り込みました。

図書館は完成しましたが、二度と同じことが起きないように、ダメなものはダメと声をあげていきます。



内覧会でビックリ! 工事完了直後で、もう数カ所の壁にヒビが!  
(写真は自習室)

## 値上げ!? 介護保険の利用料

介護サービスの利用料は所得に応じて、負担額が1割、2割、3割となっています。そのうち、介護サービスの1割負担を2倍の2割負担に増額する計画が、国で浮上しています。

現在、佐倉市は高齢者の87%が1割負担。多くの方が深刻な影響を受けることになります。介護保険料も値上がりし、所得の低い人ほど利用しにくい状況になってしまいます。弱い者いじめになる改定に対し、国に反対意見をあげるよう、市に求めました。

介護保険の認知症施策も、市にとって喫緊の課題。対応のヒントが多く得られる映画を上映します。ぜひご覧ください。